

いわきさんこうごいし  
石城山神籠石案内図

石城山県立自然公園  
国 指 定 史 跡

石城山

石城山県立自然公園の中心。標高362.0m。それほど高い山ではないが、頂上からの眺めはすばらしく、瀬戸内海の島々はもちろん、快晴の日には四国や九州の国東半島まで見渡すことができる。山頂付近にはキャンプ場やハイキングコースがあり、気軽に自然と触れ合える山として親しまれている。

国指定史跡 神籠石

石城山の8合目あたりを約2600mに渡り取り巻いている巨石の列。4つの谷間に高い石の壁を築き、中央下部には水門を設けている。神籠石は、明治末期から「神域説」と「山城説」で論議されているが、形状などが朝鮮式山城に類似していることから、現在では、山城説が有力になっている。



国指定重要文化財 石城神社

社記によると、1400年の昔、敏達天皇から「石城宮」の勅額を賜ったとあり、また、延喜式神名帳（910年）にも登録されている由緒ある神社。現在の神殿は、約500年前に大内政弘の手によって再建されたもので、春日造として貴重な建物である。特に「かえるまた」の彫刻や柱の面の取り方、高欄のそり方などは、室町時代の様式をよく残している。

石城山第二奇兵隊駐屯地跡

奇兵隊は、幕末時に結成された一種の義勇兵。石城山には、第二奇兵隊約300名が駐屯し、有事に備えて鍛錬した。慶應2年6月（1866年）幕府の長州征討が始まると、第二奇兵隊は直ちに大島郡に出動し、大島郡を占領していた幕府軍を撃退して戦功を挙げた。山頂には、本陣跡や兵舎跡、火薬庫、練兵場跡などが残っている。

文化財に関するお問い合わせは… 光市教育委員会 ☎ 0833(74)3604  
観光に関するお問い合わせは… 光市商工観光課 ☎ 0833(72)1400